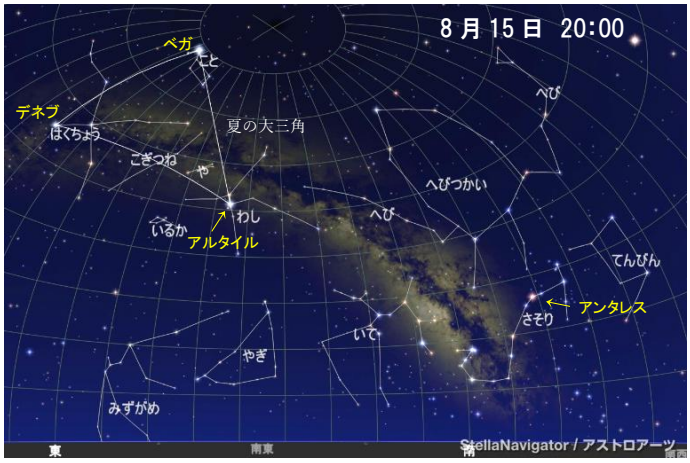
第735号　ジオスペース館だより

令和７年８月１日

★今月の星もよう★



夏空の広がる8月。南東の空高くには**こと座**のベガ、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブの3個の1等星を結んで出来る「夏の大三角」を見つけることができます。夏の大三角付近の小さな星座も探してみましょう。夏の大三角の中にある**や座**は、矢の形に並んだ全天で3番目に小さい星座です。デネブとアルタイルの中間にあるのは**こぎつね座**。アルタイルのすぐ東側には小さなひし形の**いるか座**があります。**や座**は3等級以下、**こぎつね座**と**いるか座**は4等級以下の星でできた暗い星座ですが、月明かりや街明かりのない暗い空であれば、夏の大三角をたよりに見つけることができるかもしれません。

南の空には、大きなS字を描く**さそり座**があり、サソリの心臓と言われるアンタレスが赤く輝いています。**さそり座**の上に位置する**へびつかい座**は、ギリシャ神話において死者をも蘇らせると言われた医師アスクレピオスの姿とされています。

★ペルセウス座流星群★

三大流星群のひとつであるペルセウス座流星群が、8月13日午前5時頃に極大（最も多くの流星が出現する頃）を迎えると予想されています。12日の深夜から13日の明け方には満月過ぎの明るい月が南の空にあり、暗い流れ星は月明かりにかき消されてしまうため、目に見える流れ星の数は少なめですが、火球と呼ばれるような明るい流星が流れることもあるので、ぜひ空を見上げて観察してみてください。

また、11日から13日の明け方には－4等の金星と－1.9等の木星が東の空のふたご座付近で接近し、ひときわ目立ちます。ペルセウス座流星群とあわせて、ぜひ眺めてみてください。

★皆既月食★

9月8日に日本全国で皆既月食が見られます。2022年11月8日以来、約3年ぶりの皆既月食になります。皆既月食とは、月が地球の影に完全に隠れる現象で、このとき月は赤銅色に見えます。

9月7日の夕方に満月が昇り、その満月が日付の変わった8日の午前1時27分頃に欠け始めます。完全に月が地球の影に入る皆既食は、午前2時30分から午前3時53分までの83分間です。その後、午前4時57分に部分食（月の一部が隠される）が終わる頃には、月は西の低い空に位置しています。

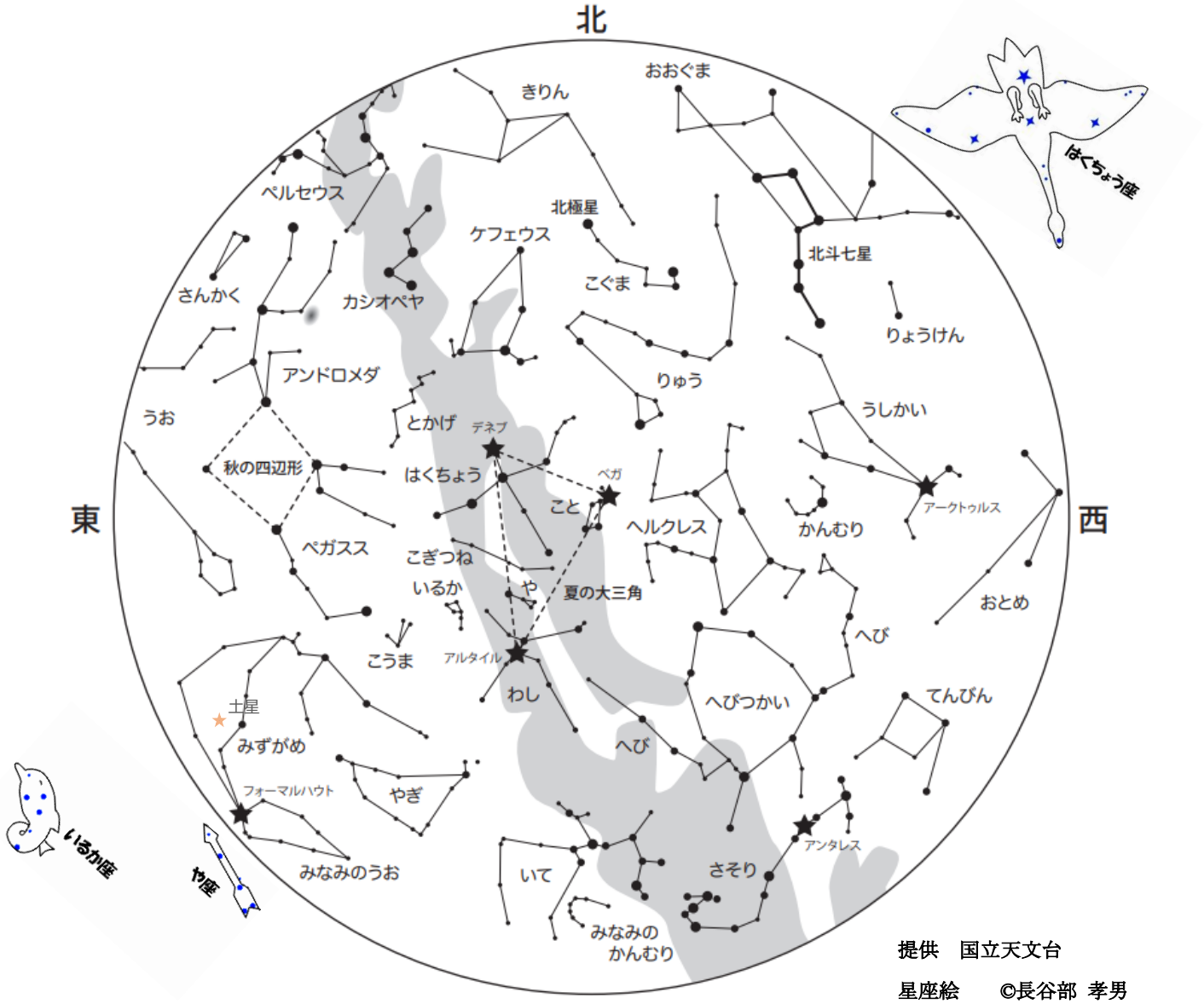
月が皆既食となったとき、満月の明るい光でよく見えなかった星々もよく見えるようになります。赤銅色に輝く月から、腕を伸ばして左上の握り拳1つ分離れたところには、土星が輝いています。赤銅色の月と土星の共演を楽しんでみてはいかがでしょうか。

☆8月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください

☆プラネタリウムのお休み　8／4(月)、12(火)、18(月)、20(水)、25(月)

豊川市ジオスペース館
GEOSPACE

８月中旬午後９時頃の星空



提供　国立天文台

星座絵　　©長谷部 孝男

★　８月の主な天文現象　★

1日(金)	上弦
	月面Xが見える
9日(土)	満月(スタージョンムーン)
12日(火)	月と土星が接近
	未明に金星と木星が大接近
13日(水)	ペルセウス座流星群が極大
16日(土)	下弦
23日(土)	新月
29日(金)	伝統的七夕
31日(日)	上弦

イベント情報（中央図書館2階事務室で受付）

★とよかわ星空観望会「月と土星と夏の星空」

9/6(土) 18:30～20:30

講師:中島健次氏

会場:赤塚山公園わくわくパーク

参加料:1人400円

申込:8/7(木)～8/10(日)

※応募多数の場合は抽選

★季節の星空探訪「中秋の名月を愛でる」

9/13(土) 15:00～

講師:浅田英夫氏

参加料:1人300円

チケット販売:8/23(土)～